



新成人を代表し、誓いの言葉を述べた 二瓶大地さん



会場には昭和60年以降の集合写真が展示された



式典終了後、記念写真の撮影をする新成人たち



友人たちとの再会を喜び、記念撮影する姿があちこちに見受けられた



猪苗代小出身者には、6年生の時に書いた自分宛ての手紙が配られた



3年後の「えとタイムカプセル」開封に備え、連絡先を記入する新成人



前後町長から成人証書を受ける田久保沙季さん

平成28年の町成人式は1月10日、学びいなで行われ、男子67人、女子71人の計138人が新成人として晴れの門出を迎えました。式では前後町長が「お世話になった人への感謝の気持ちをお忘れすることなく、若さと情熱、揺るぎない信念を持って、自らの人生を切り開いてほしい」と式辞を述べた後、町内6地区の代表者にそれぞれ成人証書を手渡しました。長沼一夫町議会議長、小椋山善継県議が祝辞を述べた後、成人代表の二瓶大地さんが「東日本大震災以降、人と人、心と心のつながりが本町のライフラインになると学んだ。絆を大切にしていって、自分の選んだ道をしっかり歩んでいきます」と誓いの言葉を述べました。式典終了後は、色とりどりの振り袖やスーツなどに身を包んだ新成人たちが旧友との再会を喜び合い、記念撮影などをする姿が見られました。

# 成人おめでとうございます

